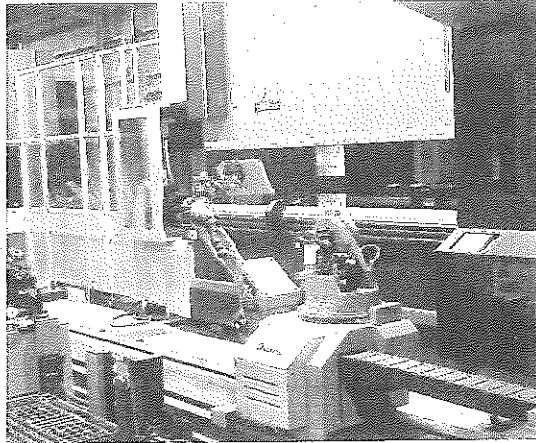


当会会員の(株)ワールド山内(北広島市)が

平成 28 年 10 月 28 日付の日刊工業新聞に紹介されました。



独自の生産管理システムを構築し、見える化を徹底する

ワールド山内は板金加工や機械加工などから溶接、組み立てまで一貫して手がける。独自の生産管理システムを導入しており、設備の稼働実績などのデータを収集・管理するなど生産現場の「見える化」に力を入れる。製品が完成するまでに要した時間や人数、受け

た仕事にかかったコストまで即時に確認できるようにするなど徹底的な原価管理にも取り組む。今回、より効率的な加工・生産体制を築く

ために「ものづくり補助金」を活用し、レーザー加工機を11月初旬にも導入する。スマホ上で、手がけている製品の加工履歴や立体姿図が確認できるアプリも開発し、時間や場所にとらわれず現場の状況を確認できるようにすることで、生産管理の高度化を図りたい考えだ。

ワールド山内

IoT活用、生産拡大

レーザー加工機導入 アプリで「見える化」

【札幌】ワールド山内(北海道北広島市、山内雄矢社長、011・377・5766)は、IoT(モノのインターネット)を活用し生産体制を強化する。11月に約1億円を投じて新たなレーザー加工機を導入するほか、スマートフォン上で加工履歴などを確認できるアプリを使い生産効率化を進める。これにより2016年3月期の売上高約13億円を、17年3月期に約18億円、18年3月期に約30億円に引き上げる。